

□はじめに

小平市では令和3年度から12年間のまちづくりの方向性を示す「小平市第四次長期総合計画」を策定しました。この計画は、「小平市自治基本条例」に基づき、小平市が目指すまちの姿を定めた計画で、様々な社会情勢の大きな変化が予想される中、将来にわたって持続可能な社会を構築し、より魅力あるまちをつくるため、進む方向性を示しています。目指すまちの姿の実現のためには、地域社会全体で計画を共有し協働することが大切です。

こうしたことから、地域社会の一員である中学生の皆さんとも計画について共有を図るため、出前授業を実施しました。

□出前授業の概要

日時	令和2年3月8日(月) 2・3・4・5・6時間目
対象	3年生5クラス(162人)
テーマ	小平市第四次長期総合計画

□出前授業の流れ

《市の担当者から小平市の概要について説明》

これから小平市に訪れる変化や課題



- ①人口減少、高齢化の加速
- ②経済財政状況の悪化
- ③公共施設の老朽化による更新ピーク到来
- ④地球規模の危機への対応
- ⑤暮らしや働き方を変えるSociety5.0時代の到来

10



自治基本条例、小平市のあゆみ、小平市の魅力、これから小平市に訪れる変化や課題、市民参加、第四次長期総合計画の取組の方向性等

生徒の感想(印象に残ったこと)

☆将来小平市の人口が減ってしまうこと。☆小平市に外国人が多いということ。☆方針が9つもあり、それら一つ一つがとても重要であるとわかったこと。☆将来の小平市は私たちがつくっていく、住民が主体的に自治に参加すること。

《45の取組の視点のうち、注目する視点についてワークシートに記入》



意見の割合が最も大きかった取組
 「水や緑、生きものとの共生」全体の10.1%
 ・小平市の自然がとても好きのため。ごみなどで自然を汚さないように心がけたい。地域の美化に努めて、関わっていききたい。
 ・地球温暖化などの環境問題や生物との問題に関してのSDGsの目標が達成されるから。
 ・緑や水などの自然がまちにあると癒されるから。道路など身近なところや駅前など人の集まる場所に自然があると、まちが活性化されると思った。

その他の取組の視点に対する意見

「郷土愛を育む」全体の2.1%
 ・小平に住んでいても、まだまだ知らないこともたくさんあるので、小平の文化や自然などもっと知って身近なものにしていききたいと思います。
 ・この小平の素敵な部分をたくさん知り、愛する人が増えていけば、小平にずっといたいと思う人が増えることになるので、人口の減少を最小限にできるの考えた。



《アンケート記入》

- ①授業の理解度、②印象に残ったこと、③小平市に住み続けたいか、④③の理由の4点について伺いました。

小平市第四次長期総合計画の内容はわかりましたか?	5点満点中平均 4.6点
大人になっても小平市に住み続けたいですか?	5点満点中平均 4.0点

授業で得た意見等を今後のまちづくりにいかしていきます。
 小平第三中学校の皆さん、ありがとうございました!

【問合せ】

小平市企画政策部総合計画担当 電話 042-346-9503

